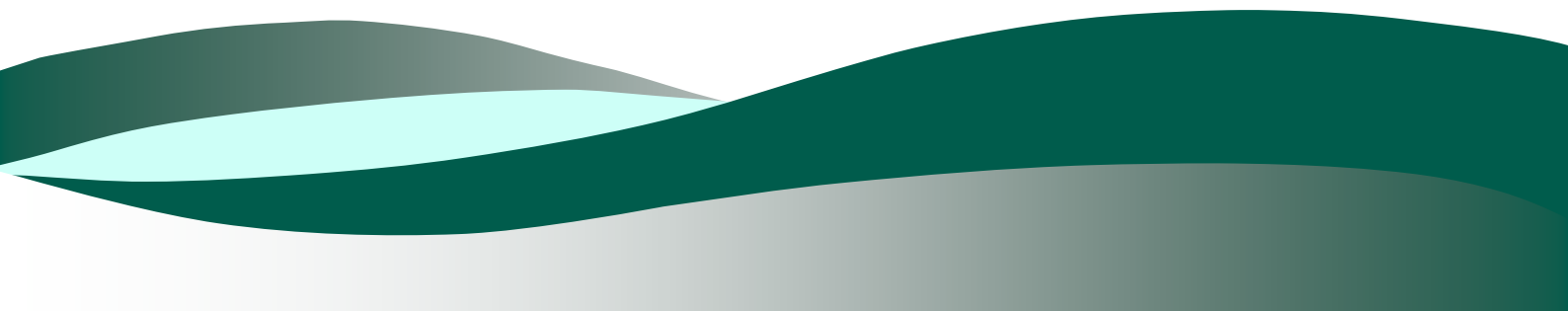


訓練12 避難、航行経路からの離脱、救命設備

12-01 避難、航行経路からの離脱の判断

12-02 避難港(避難エリア)への出入港、離着栈

12-03 救命設備等の位置・使用、避難誘導の確認



訓練12 避難、航行経路からの離脱、救命設備

訓練の対象者 船長候補、甲板員候補、その他乗組員(12-03のみ)



船長候補



甲板員候補



その他乗組員

訓練の概要 訓練内容は、下記の3つです。

- 12-01 避難、航行経路からの離脱の判断
- 12-02 避難港(避難エリア)への出入港、離着舷
 - ① 避難港(避難エリア)までの航行経路の確認
 - ② 避難港への出入港、離着舷
- 12-03 救命設備等の位置・使用、避難誘導の確認
 - ① 救命設備及び消火設備の位置の確認
 - ② 救命設備の使用方法的説明(救命胴衣着用例)
 - ③ 避難誘導の確認

訓練の振り返り 訓練が全て終わりましたら、振り返りをしましょう。
理解不足や不安な点があれば指導者に確認しましょう。

「訓練12 避難、航行経路からの離脱、救命設備」では、実際に避難(避難港含む)、救命設備の使い方について確認していく。



ベテラン船長



船長候補

訓練6でも同内容を訓練しましたが、今回は実船実水訓練として、実際の航行ルート上での避難や航行経路からの離脱の判断、避難(避難港含む)への移動、救命設備の使い方等を実践し、非常時に備えたいと思います。

12-01 避難、航行経路からの離脱の判断

避難、航行経路からの離脱の判断

本訓練を実施する際には、「訓練1 気象、水象及び航行する水域における危険箇所」で使用した地形図と、「訓練6 避難、航行経路からの離脱、救命設備」の内容を再確認しておきましょう。

- (1) 実際に運航する航路において、急激な荒天や津波発生、急病人が発生した場合などの緊急時における避難の判断を行います。(船舶の位置や状況に応じ、どこに避難するか、を含む)
- (2) 実際に運航する航路において、万が一、出航後に予期せぬ気象・水象の悪化等の兆候が発生した場合その他の非常時の場合を想定した航行経路からの離脱の判断の訓練を行います。

なお、本訓練は、**運航基準の範囲内で比較的平穏ではない条件下**においても実施します。
いざという時に瞬時に判断できるよう、日々の運航において様々な気象水象状況が出現する中で、訓練します。

12-02 避難港(避難エリア)への出入港、離着棧

① 避難港(避難エリア)までの航行経路の確認

避難港(避難エリア含む)までの経路を再確認し、避難先(避難港含む)まで航行し、確認しましょう。



実際に避難先(避難港含む)まで移動し、ルートや避難方法、事前に確認した注意すべき点などを確認します。

② 避難港への出入港、離着棧

実際に避難港において出入港、離着棧を行い、状況を確認します。

■ 緊急入港時の係留

- 避難時には、陸側の綱とりもなく、通常の係留方法とは異なります。避難先での非常時の係留方法(係留索の増し取り、錨泊等)についても確認しましょう。

■ 陸上からの避難港の状況確認

- 航行中は運航基準の範囲内でしか避難港及び避難エリアの状況を確認することはできません。気象・海象が悪化した時(運航基準の範囲外)の避難港及び避難エリアの状況について、安全を確保したうえで、陸上から確認し、非常時の対応を想定しておきましょう。



記録
しよう

12-01、02 避難、航行経路からの離脱の判断、避難港(避難エリア)への出入港、離着機の訓練内容を記録しよう。

■ 避難、航行経路からの離脱の判断を実施し、気が付いた点を記録しましょう。

■ 避難港(避難エリア)までの航行経路で、気が付いた点を確認しましょう。

例) 実際に避難港までの経路上には浅瀬があり、注意が必要であった、など

これで訓練12-01、02は終了です。

12-03 救命設備等の位置・使用、避難誘導の確認

① 救命設備及び消火設備の位置の確認

救命設備及び消火設備の種類については、船舶の一般配置図や救命設備配置図などを参考に確認します。



調べよう

事業用船舶の救命設備及び消火設備の種類を調べましょう。

一般配置図か救命設備配置図を用意しましょう。

各図の中から、救命設備及び消火設備について確認し、それぞれどのような器具及び設備があるのか。その数や位置について確認しましょう。



救命消火設備配置図の例 ▶

② 救命設備の使用方法的説明(救命胴衣着用例)

訓練6で確認した救命設備について、使用方法を実物を用いて確認します。救命胴衣については、着用方法を説明してみましょう。



乗客に対し、正しく救命胴衣の
着衣方法を説明できているか？



正しく着衣できているか
確認できたか？



船長候補

緊急時を想定した救命胴衣の着衣訓練をしてみると、

(1) 自分は日常から救命胴衣を着用しているがゆえに、改めて乗客に正しく救命胴衣を着用させようとしたとき、説明の仕方や説明すべき内容がとっさに出てこない。

(2) 一度に大勢のお客様に着用させる場合、目が届かない、確認が行き届かないお客様が出てくるかもしれない。

事前に何回も模擬的に訓練し、緊急時にも落ち着いて説明できるように備えておかねばなりませんね。

③ 避難誘導の確認

訓練6に関し、実際に避難誘導を説明してみましょう。



記録
しよう

12-03 救命設備の位置・使用、避難誘導の確認の訓練内容を記録しよう。

■ 救命設備の使用方法を説明し、気が付いた点を確認しましょう。

例) 救命胴衣の着用させる場合は反射テープが表側等と丁寧に説明する必要がある、など

■ 避難誘導を説明し、気が付いた点を確認しましょう。

例) 早口になってしまうので落ち着いて放送する、など

これで訓練12-03は終了です。